

■コイルの質量表

ガルバリウム鋼板の記号		AZ150									
幅(mm)		610		762		914		1,000		1,219	
表示厚さ(mm)	単位質量(kg/m ²)	1mの質量(kg)	1トンの長さ(m)	1mの質量(kg)	1トンの長さ(m)	1mの質量(kg)	1トンの長さ(m)	1mの質量(kg)	1トンの長さ(m)	1mの質量(kg)	1トンの長さ(m)
0.27	2.320					2.12	472	2.32	431		
0.30	2.555					2.34	427	2.56	391		
0.35	2.948	1.80	556	2.25	444	2.69	372	2.95	339		
0.40	3.340	2.04	490	2.55	392	3.05	328	3.34	299		
0.50	4.125	2.52	397	3.14	318	3.77	265	4.12	243	5.03	199
0.60	4.910	3.00	333	3.74	267	4.49	223	4.91	204	5.99	167
0.80	6.480	3.95	253	4.94	202	5.92	169	6.48	154	7.90	127
1.00	8.050	4.91	204	6.13	163	7.36	136	8.05	124	9.81	102
1.20	9.620	5.87	170	7.33	136	8.79	114	9.62	104		
1.60	12.760	7.78	129	9.72	103						

■使用上のご注意

- 接合金具、止め金具、釘などは耐食性の良いもの(ステンレス/SUS304製など)をご使用下さい。
- 油等の汚れは、家庭用中性洗剤または温水で除去して下さい。
- コーキング材を使用する場合は、塗装鋼板の耐久力に見合う高品質の製品をご使用下さい。
- 保護フィルム付きをご使用の場合は、施工後すみやかに保護フィルムをはがして下さい。
- 材料の切り屑、切粉、釘等は、もらい錆の原因となりますので、完全に取り除いて下さい。
- 鳥の糞、砂、泥、有機物(木の葉等)の堆積は、塗膜に有害です。その都度清掃して下さい。
- 濡れたコンクリートや湿った木材、銅や鉛などの異種金属が接触するような施工は、化学・電食作用を誘発する可能性があります。避けてください。
- 塗装鋼板の裏面は、防錆処理を配慮した設計をしていますが、断熱、結露防止、防水などに十分ご注意ください。
- 防錆処理した木材又は合板に接触する部分には、絶縁用下葺で防錆して下さい。
- 水溜り箇所や湿潤箇所が出来ないように、屋根勾配や収まりにご注意下さい。
- 軒下近傍等の雨掛かりしにくい部分では、塩害粒子や酸性分等の腐食原因物質が洗い流されず、むしろ濃縮されやすく、腐食の進行が早くなります。雨掛かりしにくい部分については水洗い等によって定期的に腐食原因物質を洗い流すことをお勧め致します。(水洗いの際には、屋内への漏水にご注意ください)

 **東海カラー株式会社**

本社・工場 〒808-0022 北九州市若松区大字安瀬1番地 TEL(093)771-1080 FAX(093)752-1230
 営業部 〒808-0022 北九州市若松区大字安瀬1番地 TEL(093)771-1081 FAX(093)752-1230
 ●営業所のご案内
 九州営業所 〒812-0025 福岡市博多区店屋町5番18号(博多NSビル4F) TEL(092)262-6623 FAX(092)262-6629
 広島営業所 〒730-0017 広島市中区鉄砲町10番12号(広島鉄砲町ビルディング14F) TEL(082)221-3408 FAX(082)502-0413
 大阪営業所 〒541-0041 大阪市中央区北浜4丁目5番33号(住友ビル7F) TEL(06)4706-6381 FAX(06)4706-6382
 名古屋営業所 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2丁目13番18号(NSビル6F) TEL(052)586-9895 FAX(052)589-2163
 ホームページアドレス <http://www.tokaicolor.co.jp/>

特約店

S150420

塗装ガルバリウム鋼板 ^{テン}
トカイカラーGL・10
はるか

55%アルミ・亜鉛合金めっき 塗装鋼板



日本鉄鋼連盟 材料標準保証規格10年

 **東海カラー株式会社**

ISO 9001
 ISO 14001


 No.0633-ISO 9001
 No.E1688-ISO 14001
JAB
 CM002

塗装ガルバリウム鋼板 55%アルミ・亜鉛合金めっき

トーカーGL・10 はるか

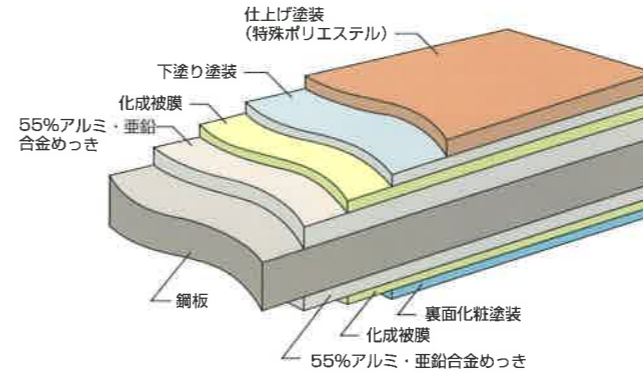
日本鉄鋼連盟 材料標準保証規格10年

「トーカーGL・10 はるか」は、

耐食性に優れたガルバリウム鋼板をベースメタルに採用、
耐候性を加味した特殊ポリエステル樹脂塗料を塗装、
色調も落ち着いた艶消タイプを中心に設計致しました。



■構造



■塗装鋼板試験値の一例

試験項目	試験内容	トーカーGL・10 はるか (特殊ポリエステル樹脂塗装)
物性	光沢(60度鏡面反射率)	5.0
	鉛筆硬度(三菱uni)	2H
密着性	基盤目試験	JIS G 3322 ◎
	衝撃試験	// ○
	曲げ試験	// ○
加工性	曲げ試験 (180度曲げ)	2T ◎
		4T ◎
耐食性	塩水噴霧試験 (JIS Z 2371)	試験時間 1,500時間
		平面部 ○ クロスカット部 ○ 2T曲げ部 ◎
耐食性	湿潤試験 49℃× 相対湿度98%	試験時間 1,500時間
		平面部 ○ クロスカット部 ○ 2T曲げ部 ○
耐候性	デューサイクル ウェザーメーター	試験時間 200時間
		光沢保持率(%) 12.0 色差(ΔE) 6.0
耐薬品性	5%水溶液	試験時間 120時間
		硫酸 ◎ 苛性ソーダ △

注 1) 評価は 優 ◎ ○ ⊙ △ × 劣 を示します。
2) 曲げ試験のTは板厚を示します。
上表の試験結果は、弊社試験室での試験データであり保証値ではありません。

■製造可能寸法

区分	厚さ(mm)	幅(mm)	長さ(mm)	コイル重量(kg)
平板	0.27~0.5	914	1,829~3,048	—
コイル	0.27~1.2	610~1,000	—	2,000~5,000

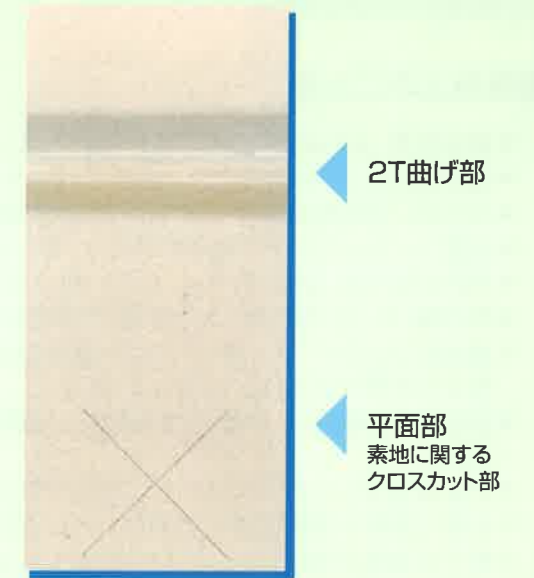
■日本工業規格の番号 JIS G 3322

■国土交通大臣認定不燃材料 認定番号 NM-8697

■耐食性試験(塩水噴霧試験)

- 試験方法…JIS Z 2371に規定された方法に準拠
- 食塩水濃度 …… 5±1%
- 試験機内温度 …… 35±2℃
- 食塩水噴霧量 …… 1~2ml/80ml/h
- 食塩水のPH …… 6.5~7.2
- 試料の傾斜角 …… 垂直に対し15°

塩水噴霧1500時間試験後の外観写真



2T曲げ部

平面部
素地に関する
クロスカット部

■厳しい環境下で実証されたガルバリウム鋼板の耐食性

ガルバリウム鋼板は、米国で20年以上の使用実績を持つ他、世界各地で盛んに使用されています。ここに厳しい塩害地域(ノースカロライナ州・キュアビーチ)及び大気汚染の厳しい工業地域(ペンシルバニア州・ベスレヘム)で13年間にわたり試験した、溶融亜鉛めっき鋼板とガルバリウム鋼板の屋外暴露の結果があります。これによると、特に塩害地域と工業地域でガルバリウム鋼板は、付着量Z27の溶融亜鉛めっき鋼板より3~6倍の耐久力を発揮することが実証されています。また、グラフから、溶融亜鉛めっき鋼板の腐食減量は大きく暴露時間に比例しているのに対し、ガルバリウム鋼板は時間の経過に伴い、腐食のスピードが減速していることがわかります。つまり、鉄を保護する酸化生成物による自己修復作用が働き、ガルバリウム鋼板の耐久力は、長期にわたる程、他の亜鉛めっき鋼板との差が開いていくわけです。

